

## 第7章 北松分教室の研究

## 第7章 北松分教室の研究

### 1 北松分教室の研究テーマ

新学習指導要領の考えに沿った教育課程の見直しⅢ

～国語科、数学科、職業科・家庭科の単元別指導計画表の作成と授業実践～

### 2 研究テーマ設定の理由

昨年度は「新学習指導要領の考えに沿った教育課程表の見直しⅡ」の主題の元、教科別指導の年間指導計画の見直しを行った。

そこで、今年度は昨年度の研究の継続と教科を増やして、「単元別指導計画表」を作成した。単元別指導計画表を作ることは、職員一人一人が高等部の新学習指導要領の理念や内容を理解する機会となり、それをより意識した単元計画や授業作りができるようになるのではないかと、また、計画表を基に授業実践を行うことで、その反省等が教育課程の見直しをする際の根拠となるのではないだろうかと考えた。

### 3 研究の目的

開設当初より、話し合いを重ねながら教育課程の編成を行ってきたが、現状として教育課程の充実には努力しているが、課題が残っているものもある。今回、新学習指導要領の考えを取り入れ、教育課程を見直すことで、北松分教室の特色を生かした、さらなる教育活動の充実を目指したいと考える。

今年度は、昨年度の課題等も踏まえつつ、作成する教科（職業科・家庭科）を増やし、サブタイトルを「～国語科、数学科、職業科・家庭科の単元別指導計画表の作成と授業実践～」として本研究に取り組むこととした。

### 4 研究内容

#### (1) 研究の方法

単元別指導計画表の作成に向けて

本校で作成された単元別指導計画表の様式を基に、単元別指導計画表とは何かを共通理解するところから始めた。

小規模校であることをメリットとし、全職員が単元別指導計画表を作成して授業実践を行うということを前提に校内研究を計画し、スタートした。年間指導計画→単元別指導計画表の作成→授業実践→反省という一連の流れを、職員一人一人が確実に積み重ねていくことができるようにすることを重視するためである。

#### (2) 研究の経過

4月～5月	○これまでの研究概要の振り返り。 ○今年度の研究の方向性についての共通理解
5月～7月	○記入方法等の共通理解、単元別指導計画表の作成（1学期）
7月～8月	○単元別指導計画表の作成（2学期） ○1学期の評価
9月～12月	○作成した単元別指導計画表を基にした授業実践、授業反省、見直し等 ○単元別指導計画表の作成（3学期）、アンケートの実施、集約 ○2学期の評価 ○研究のまとめ
1月	○研究のまとめ、2学期の評価

## (3) 研究の実際

## 単元別指導計画の作成

国語科、数学科の授業は3学年合同で、国語3グループ、数学4グループの習熟度別グループで展開している。職業科・家庭科の授業は、学年別で担任が担当しており、3学年がそれぞれ単元別指導計画表作りに取り組んだ。様式は本校で作成されたものを使用した。(資料1)

計画表の作成後は各職員で授業実践を行い、反省、追記をするようにした。

11月に全職員に単元別指導計画表についてのアンケートを実施した結果、以下のような意見が上がった。

1	単元別指導計画表の記入時の疑問や気づき、改善点等について
<p>「単元計画」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●期日と題材が横並びのほうが見やすいのではないか。</li> <li>●時間を記入するところで、どの内容にどのくらい時間を掛けたほうが良いのか迷った。</li> </ul> <p>「実践期日」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●予定と実践期日のずれが大きくなってしまう。</li> </ul> <p>「単元目標」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●立て方が難しかったので、学習指導要領からそのまま抜き出すのか、実態に合わせて目標を設定するのか分かりやすく記述してほしい。</li> <li>●実態の幅があるので目標を立てるのが難しい。</li> <li>●転記と記述するでは、大きく違ってくる。</li> </ul> <p>「～段階で育てたい力」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●選択の余地がなかった。内容の検討も今後必要ではないか。</li> <li>●合うものを見つけるのが難しいときがある。</li> <li>●一覧表の中から選択ということで無理やり選んだ部分があった。</li> </ul> <p>「題材」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●段階表から選んでいるだけなので書きやすさはあるが、必要のない文言が入ることがある。</li> </ul> <p>「単元評価」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●観点や評価基準がこれでいいのか、難しい。</li> </ul> <p>「反省」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●授業時数、指導時期の反省が書きづらかった。</li> <li>●「単元評価」・「反省」の活用の仕方をどう捉えていけばよいか。</li> </ul>	
2	単元別指導計画表の作成、授業実践、反省等を終えての気づき等
<ul style="list-style-type: none"> <li>○書くことで見通しをもつことができた。</li> <li>○A～Cを書くのは、3つの柱のどこを狙うのか明確になるので良い。</li> <li>●もう少し、簡略化できないか。</li> <li>●記述の内容をもっと少なくできないか、書くのに時間が掛かる。</li> <li>●書くだけになり誰も見ないのではないか。保管方法等の工夫が必要ではないか。</li> <li>●毎年、それも全教科となるととても無理がある。</li> <li>●本当に次回や次年度に向けて活用できるのか。</li> </ul>	

1)に関しては、様式の配置等で改善できる点は、本校の様式に準じて作成する予定である。また、記入方法についての意見については、本校で作成されたマニュアルを使って、年度初めに共通理解をして対応したいと考える。

2)は、単元別指導計画表を作成するにあたっての感想を成果(○)と課題(●)でまとめた。単元別指導内容表を作成することで見通しをもつことができた。観点別のA～Cを書くのは、3つの柱のどこを狙うのか明確になるので良いなどの成果の意見が出たものの、書くのに無理があるという意見や、書くのに時間が掛かるなどの意

見があり課題も多く挙げられた。

#### (4) まとめと今後の課題

昨年度の研究では、国語科、数学科の単元別指導計画表に取り組み、今年度は、職業科・家庭科を加えて単元別指導計画表の作成と授業実践を行ってきた。成果としては、昨年からの継続的な研究により、スムーズな取組になったことや取り組んだことで、それぞれの職員の意識が高まり授業の見通しをもつことができた。また、データファイルに保管することで、誰でも見られることや、教科の成果物ができたことも成果の一つである。保管や引継ぎ方等に課題はあるが、作成するにあたり、新学習指導要領の理念に沿った授業改善を行うツールとして有効であることを認識することができた。作成の中で新学習指導要領や解説を手にする機会も増え、単元や題材のまとまりを意識しながら主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の視点をもつことができたと考える。また、当たり前なことではあるが、計画を立てて授業実践をするという習慣化を図ることもできたのではないだろうか。

しかし、この単元別指導計画表の作成をすることで、かなりの時間を要することやどれだけのことを生徒に還元できているのか、掛けた時間の割にあまり役に立っていないのではないかという意見があった。また、単元別指導計画表の作成を毎年、それも全教科となると、とても無理がある、この単元別指導計画表の意義があまり感じられないという意見もあり、今後考えていかなければならない。

今後も続けるのであれば、有意義なものになるため、あまり時間を掛けずに作成できる方法はないのか、負担にならないような改善ができないか議論しなければならない。

次年度からは、作成した単元別指導計画表を活用し、別の取組も模索していきたい。

科指導計画表		単元名	【 指導時期 ( ) 月 ~ ( ) 月	
単元計画 (題材名・時間)				
全 ( ) 時間	① 「 /、 /、 / 計 ( ) 時間	② 「 /、 /、 / 計 ( ) 時間	③ 「 /、 /、 / 計 ( ) 時間	「
◎ 部段階で育てたい力				
単元目標	A (知・技) B (思・判・表) C (学・人)	学習指導要領の指導内容をそのまま転載、または記述する。		
題材 ① ( )	【学習内容】 ※ A～Cの何を取り扱う内容なのかを明記する。 ○学習活動 ・活動のねらい	【手立て、指導上の意図・留意点等】	【教材】 「卒業後の進路・生活を見通した必要な力」一覧表から選択する。	
題材 ② ( )	【学習内容】 ※ A～Cの何を取り扱う内容なのかを明記する。 ○学習活動 ・活動のねらい	【手立て、指導上の意図・留意点等】	【教材】	
題材 ③ ( )	【学習内容】 ※ A～Cの何を取り扱う内容なのかを明記する。 ○学習活動 ・活動のねらい	【手立て、指導上の意図・留意点等】	【教材】	
単元評価	A (知識・技能)	B (思考・判断・表現)	C (主体的に学習に取り組む態度)	
項目 評価 (◎○△)				
指導回数、指導時期				
目標、評価、学習内容、手立て				
教材、場の設定				
育てたい力				
反省				

単元評価では、題材別の評価ではなく、一単元を通じた評価基準を標記する。

単元全体の教師の反省を記入する。(題材ごとにする場合は、内容を工夫し記入する。)  
育てたい力は、本単元がその力を育むものだったかどうかを評価し、一覧表にはない別の力が必要な場合は、具体的に内容に記入する。